

RENMEIみやぎ

松川だるまのいわれ

仙台の「松川だるま」とは、伊達藩藩士である松川豊之進が天保年間(1830～1844年)に創始したものであることから、その名前が付けました。普通私たちが思い浮かべる赤色のだるまではなく、松川だるまのいちばん大きな特徴は、鮮やかな青色・初めから両目が描かれているということ。大きな目で隅々を見渡している、というご利益があるのだそうです。



松川だるま

目次

会長あいさつ・ごあいさつ	2~5P
平成28年度北海道・東北ブロック看護管理者セミナーに参加して	5P
都道府県看護連盟会長・幹事長・支部長合同会議に参加して あべ俊子「国政報告会」に参加して	6P
第4次産業革命への対応(ロボット・人工知能等)	7P
たかがい恵美子参議院議員「国政報告会」	8~9P
看取り～終末期に起こる生命体の諸現象～	8~11P
総会・研修会のご案内	11P
会員募集	12P



あいさつ

宮城県看護連盟会長 富田 きよ子

会員の皆様には日頃より宮城県看護連盟活動に際し、温かいご支援・ご協力いただきまして心からお礼申し上げます。

忘れもしない、2011年3月11日の東日本大震災で宮城は一万を超える尊い命が失われました、7年目の月命日を迎えます。お亡くなりになられた方々のご冥福を改めてお祈り申し上げます。

当時、壊滅的被害を受けた石巻市立病院が昨年再開され、はずむような、明るい声の看護部長さんと話をすることが出来とてもうれしかったです、ほっとしました。たかがい恵美子参議院議員が、被災地東北の復興シンボルと位置づけて訴えた医学部も新設されました。また、当時の惨状を目の当たりにした日本訪問看護財団が名取市で仮設住宅の訪問看護事業を立ち上げ、5月の連休後から活動を行い、現在は名取市の委託事業として、7年目の被災者ケアを継続しております。そして、被災地を想って様々な形で支援を続けて下さる全国看護連盟の皆様いつもありがとうございます。

たくさんの明るいニュースが復興の後押しをしてくださり、私たちはそれらのことに支えられて未来へと進んでいることを実感しています。

昨年、7月に行われた参議院選挙では、たかがい恵美子参議院議員が二期目の当選を果たしました。多くの皆様にご協力いただきました。早速1月にたかがい議員に、働き方改革推進についてご講演を頂きました。先生の力強さに圧倒され、7月に行われる宮城県看護連盟総会後の交流会で、たかがい議員の講演や昨年の厚生労働委員会での発言に基づいて、働き方改革実現に向けて「視て・聴いて・語って・行動する」を企画しておりますのでご参加ください。

東北大学名誉教授の山室誠先生に「看取り、終末期に起こる生命体の諸現象」の講演をして頂きました。少子高齢多死社会を実感している私たちは、病院だけではなく、施設や、在宅で終末期を迎える方々の看取りについて先生から多くのことを学びました。看取りの質の向上をめざして実践していくことを期待しております。

昨年11月には、竹内与志夫先生から第4次産業革命への対応について講演を頂いたところ、ロボット・人工知能等の情報が多く目に止まり、ロボットが医療・看護をどう変えるかなど興味・関心が湧いています。

今年も種々の選挙があります。たかがい参議院議員が大変お世話になりましたので、結い(ゆい)の心で、しっかり応援していきましょう。

10月に石田まさひろ参議院議員の講演会(青年部主催)を予定しておりますし、岡山3区の石巻出身、阿部俊子衆議院議員、木村弥生衆議院議員も京都で頑張っております。

新たな気持ちで会員の皆様と共に次の目標に向かって一緒に進んでいきましょう。

平成29年度もどうぞよろしく申し上げます。



ごあいさつ

日本看護連盟会長 **草間 朋子**

立春も迎え、梅の蕾もほころび、ヒガンザクラの便りも聴かれ、春の訪れを実感する今日この頃です。

2025年問題への対応に向けて医療界も着実、かつ、急速に変化しております。医療改革の多くが地方行政に委ねられることになり、すでに各都道府県からは医療構想ビジョンが示されつつあります。各都道府県の医療構想ビジョンを検討する医療構想調整会議等には、看護協会の代表も参加できる仕組みが、日本看護連盟の働きかけによりできました。一方、2018年の診療報酬・介護報酬の同時改定の検討はすでに始まっております。グローバルな視点からの医療改革は、診療報酬により大きな影響を受けます。2025年に向けての「支える医療」を担うのは看護職です。今回の診療報酬の改定に向かって看護職の声をしっかり届けてまいりましょう。「ベッドサイドから政治を変える」この素晴らしいスローガンを一步一步実現していくことが、連盟の使命です。現場からしっかり声をあげていきましょう。



ごあいさつ

参議院議員 **高階 恵美子**

謹賀新年 丁酉の2017年は、直感力と行動力を磨いて運氣を取り込み“いのち（人生）の実り”について、改めて考えたいと思っています。

ひとの生きる力を守り支える看護のパワーを存分に活かせる社会づくりを進めたい。そのために今、私たちは自らの知識・技術・経験を総動員して、諸般の労働法制の改革に取り組んでいかなければなりません。

これからの数年間は、従来予想を超える多様な医療需要の増加と供給市場の拡大が急速に進むと見込まれます。変化を座して待つのではなく、プロの目利きで時代を先取りする攻めの姿勢で挑みたいものです。

また、2015年に始動した我が国の女性の健康科学については、十分な学術基盤が醸成されるように、2016年に始動した「幸齢社会への挑戦“ハッピープラチナ運動”」は、順調に各所での事業が充実するように、引き続き力を注いで参ります。

さらに2期連続の自民党女性局長として、7つの重点政策の一層の推進と女性議員の育成と政治力向上の体制整備にも取り組みます。

本年も、看護職の誇りを胸に鋭意努力する所存です。みなさまのますますのご繁栄を心よりご祈念申し上げます。



ごあいさつ

参議院議員 石田 昌宏

宮城県看護連盟のみなさま、日頃お力添えを賜りありがとうございます。

1月20日に第193回通常国会が始まりました。会期は約150日間です。まずは、補正予算と新年度予算の成立のための議論が行われます。

今国会においては、引き続き社会保障制度改革の議論が進められていきます。「ニッポン一億総活躍プラン」の第三本の矢として、「第1の矢 希望を生み出す強い経済」、「第2の矢 夢をつむぐ子育て支援」、「第3の矢 安心につながる社会保障」が放たれる中、2018年の診療報酬、介護報酬同時改定に向け、今年は大きな山場を迎える年です。地域包括ケアの中心的役割を期待されている私たち看護職が「良い看護ができた」と実感できることは、国民の皆様ひとりひとりが安心して暮らせる社会の必要条件だと思います。

昨年の臨時国会で議院運営委員会理事を拝命し、全省庁の窓口となって議会運営に携わっています。この経験を、看護政策遂行に生かしていきます。

看護の現場の明るさは、日本の元気のバロメーターだという信念で国政に取り組んで参ります。今年も皆様とともに手を携え歩んでまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。



ごあいさつ

衆議院議員 あべ 俊子

宮城県看護連盟の皆さま、こんにちは。いつも温かいご支援を賜り心より感謝申し上げます。

医療を取り巻く環境は年々変化しており、国民の安全と安心を守る医療体制は今、大きな転換期を迎えています。国民の理解を得られるかたちでの税の投入と、持続可能な医療を含む社会保障制度の確立が求められるなか、現在開催中の第193回通常国会では、来年4月の診療報酬・介護報酬同時改定に向けた議論を進めております。医療や看護や介護が抱える課題について、また、看護職の皆さまが快適に働くことができる環境づくりのため、その制度の充実に向けて発信してまいります。

また自民党副幹事長としては、党務を取り仕切る二階俊博幹事長の下、自然災害の復興支援、ふるさと対話（地方の生の声を聞かせていただくプロジェクト）のほか、女性活躍推進や農林水産振興のための取り組みを担当しています。

今後も皆さまの現場の声をお聞かせいただきながら国政に努めてまいります。よろしくお願い申し上げます。



ごあいさつ

衆議院議員 木村 弥生

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

初当選から 2 年、看護の視点を軸にさまざまな法案に関わってまいりました。特別養子縁組のあっせんに関する法案では、議員立法作成・成立の過程を勉強させていただき、障がい者総合支援法の改正では、医療的ケア児に対する教育・医療・福祉の連携した支援体制の構築に力を注ぎました。

3 月には、稲田朋美先生からの推薦により待機児童問題等緊急対策特命チームの座長に就任。

ここまで来られたのも、看護職の皆さまのご指導があつてこそです。これからも現場の最前線でいただいたご意見やご要望を政策に反映してまいります。そして、光の当たaraぬところにあたたかな光を当てていく政治家でありたいと思っています。

最後になりましたが、京都三区（京都市伏見区、長岡京市、向日市、大山崎町）にご家族・親類・ご友人等がいらっしゃいましたら、ぜひ木村の紹介をお願いいたします。

本年もよろしくお願ひ申し上げます。

平成28年度

北海道・東北ブロック看護管理者セミナーに参加して

平成28年9月24日・25日 青森国際ホテル

広南病院 早坂 たけみ

「看護政策の実現に向けてどう取り組むのか」を考える研修でした。

諸先生方のご講演やグループワークを通して、もっと現場が建設的な意見や要望の声を上げないと何も変わらない事や、発信の手段や誰に発信するのかを熟慮する必要があることを再認識しました。現時点で自分自身ができる取り組みは、自施設の連盟会員を増やせるような活動を促進し、支部役員が活動しやすい環境を提供できるように支援していくことだと考えます。

また、研修に臨むに当たっては、現場を管理するものとして働きやすく選ばれる病院づくりの方法や離職を防止し人材を確保するために何をすべきか、などの課題を持っておりましたが、他施設の方との意見交換で参考になるお話を聞くことができ、大変有意義な内容となりました。参加させていただいて、ありがとうございました。

都道府県看護連盟会長・幹事長・支部長合同会議に参加して あべ俊子「国政報告会」に参加して

平成28年10月27日 グランドプリンスホテル新高輪



仙石病院 佐々木 由佳

合同会議においては、第24回参議院議員選挙総括にあたり、時間が不足する程の活発な意見が聞かれ、今後の課題として、看護協会との更なる連携、組織力を強化した取り組みなどが浮き彫りになった。活発な意見交換は真剣に取り組んでいる象徴であり、この刺激を機に今後の活動に活かしていきたいと思う1日であった。

又、4期11年目を迎えたあべ俊子国政報告会は、塩崎大臣・たかがい恵美子参議院議員はじめ、多くの来賓を迎え盛大に行われた。中でも田村衆議院議員の特別講演は、女性・若者・高齢者を含め働く方々が生きがいを持って活躍できる職場環境を整備する働き方改革についてや、地域で安心できる医療提供体制、地域包括システムに関連した内容が話された。あべ俊子議員がスローガンにしている「いのち、暮らし、いちばん」を象徴する内容であり、あべ俊子議員の活躍ぶりが目に浮かぶ内容であった。



石巻赤十字病院支部 大庭 いずみ

「ここは看護師と言う職業を本気で考える人たちの集まりだ！」協議は各県会長や支部長から連盟本部に対する厳しい指摘が飛び交った。「もう次の選挙への戦いは始まっている！」という会長達の言葉を聞いて、支部長初年度やっとの思いで選挙活動を終えてやれやれと思っていた自分は衝撃を受けた。何故連盟会員分の票さえ得る事ができないのか。看護協会員は何故本気で協力をしてくれないのか。「組織選挙になっていない！」という会長達の言葉に、連盟本部のみではなく、自分達一人一人が連盟活動の重要性を本当の意味で会員に理解してもらい、投票行動に繋げてもらう次回選挙は「組織選挙」にしなければならないと思った。

会員研修 第4次産業革命への対応(ロボット・人工知能等)

講師：竹内 与志夫(株式会社ナナイロ 医療コンサルタント)

平成28年11月19日 仙台ガーデンパレス



宮城県立こども病院 横内 由樹

平成28年11月19日(株)ナナイロ 医療コンサルタント 竹内与志夫氏を講師にお迎えし、「看護業務と人工知能の活用」の研修が開催されました。

現代生活にはスマホが欠かせないように、現在の人工知能は人間の営みを行うことができるコンピュータのプログラムが開発され、とても身近な存在となっています。医療での活用はカリフォルニア大学で臨床試験が始まり、在宅向けの遠隔医療に用いられています。また、人工知能バーチャルナースが認知症患者の会話を重ねることで症状改善がみられるという報告もあり、効果が期待されていることを知りました。日本においても超高齢社会の医療スタッフ人員不足への対策の1つとして医療現場での活用も期待されています。

人工知能は経験を積みれば積むほど精度が高まると聴き、使用している「看護勤務支援システム」も微調整を加えながら、積極的に活用していくことが必要と思いました。

人工知能の活用における課題は、「医療・看護の原点を失うことなく、システムに振り回されず、盲信しないこと」です。倫理的な配慮を確認しつつ看護業務に上手に取り入れられるよう期待しています。



石巻赤十字病院 小野寺 英恵

現在、超高齢社会で認知症や癌など複数の疾患を抱えた高齢者患者が増加しており、それに伴い、看護業務の役割も増えて、仕事量の負担も大きくなっていくと予測されます。AIの高度化により、活用する上で高性能な反面、倫理的な課題もありますが、AIに担う範囲を考えて使用することで看護業務の質も上がるのではないかと思います。また、人間である看護師の強みとは何なのかということを見つめ直す良い機会となりました。



会員研修

平成29年1月21日
仙台ガーデンパレス

たかがい恵美
看取り～終末

仙台厚生病院 富樫 慎太郎



平成29年1月21日開催の国政報告会では、国会議員における看護職・東北出身・女性というたかがい恵美子参議院議員の立ち位置について、給与面の問題についての取り組みなどについて報告して下さった。介護士・保育士の給与をニュースで取り上げられているが、看護師は額面をみれば給与は高く見えることから、取り上げられていることは目にしたことはない。

「家庭環境を顧みず、昼夜土日関係なく働く看護職がこの給与額でいいのか」とたかがい参議院議員は言う。

「私たち看護師はお金の話をしているのか？」と後ろ髪を引かれる気はするが、私の仕事は、私の時間、生命を使っている。私達、臨床の看護師が声を挙げずして、誰が声を上げるのだろうか。他人事でいいのか？いいわけがない。私達若手にとって話す機会の少ない死や政治について、友人や同僚と話すことから始めたい。

看護連盟会員研修『看取り～終末期に起こる生命体の諸現象～』

講師である岡部医院仙台院長 山室誠医師が、終末期の Paradox、喪失体験の重要性についての話にふれた時、私は7年前に亡くなった祖父を思い出した。それは、肺がん末期の祖父が入院する病院へ面会に行った時、厳しかった祖父が私の手を握り、頭を下げ「ありがとう。ありがとう。」と言う光景であった。学生だった私には、ただただ不思議な経験であった。加齢や病により多くの喪失の末に至った安らかな最後の準備だったのだろうと、山室先生は示して下さいました。終末期の鎮静を行っていた場合、こういった終末期に起こる諸現象は奪われて、同じ経験ができたでしょうか。祖父から死について教えられたのは本日で2度目であり、これは山室先生のおかげである。

山室先生曰く『立ち会うことに慣れ、看取りの畏敬を忘れていない』。「みとり」を「見取り (Death Watching)」として対応していた、私達医療従事者の非常への慣れを認識することが、『逝く人の覚悟と看取る人の納得を引き出し、人の死を喪失へ留め』、終末期に起こる諸現象によって、安らかな看取り文化の価値を再興する一歩となると感じた。



子参議院議員「国政報告会」 期に起こる生命体の諸現象～

講師：山室 誠 氏（東北大学名誉教授）

仙台保健福祉専門学校 鈴木喜 代子



平成29年1月21日に宮城県看護連盟会員研修会は約160人と参加多数で開催されました。

高階恵美子参議院議員の国政報告会では、日本北部出身の国会議員は少ないこと、看護職の賃金は高くないことの二点をお話しされていました。賃金は、何故か周囲から高いと聞かされ、夜も寝ないで働き、真夜中の眠い寒い時間の出退勤で頑張っているのだからと思っていましたが、昇給経線では事務職員に40歳を過ぎると追い抜かれて行ってしまうというのは、私が体験した残念な出来事でした。賃金は高くないということに納得ができました。看護職は賃金だけでなく、認められているのかと疑問に思うこともありました。看護職を、やりがい、生きがいと誇りに思えるように、看護職議員を応援し、職場の声を改善につなげていただきたく国政の場での活躍を期待しております。

看取り～終末期に起こる生命体の諸現象～について、東北大学名誉教授の山室誠先生からご講演いただきました。治療の限界、発達段階の到達として、人は誰でも最後の日を迎えます。看護師になり、看取りの場面にも立ち合わせていただきました。この時には、ご家族や大切な方との限られた時間を大切に過ごしていただけるように精一杯の配慮を心がけ、臨終のときにはやはり手をとっていただいたりしておりました。人は亡くなるときに、痛みはなく、人によっては多幸感を伴った神秘体験をする可能性が高いということで、私も最後は穏やかに迎えられそうで安心しました。もう一つ興味深かったのは、最後まで残る感覚は嗅覚の可能性ということでしたので、ぜひ自分のエンディングノートにも記載しようと思いました。興味深いご講演ありがとうございました。

平成28年度 宮城県看護連盟会員研修会



小野寺五典議員を励ます会

江陽グランドホテル H28.11.2



看取り ～終末期に起 講演について

「看取り」難しいテーマをわかりやすく講演していただきありがとうございます。私は、看護師として病院勤務の中、たくさんの患者の看取りに携わってきました。患者自身、患者をとりまく家族など、たくさんの人々と関わりました。その中で、自分なりに幸せな死を迎えた患者をみて、人生は死ぬまで、幸せな死を迎える事が出来た人の人生が幸せなんだと実感しました。

人生が幸せか不幸かは死ぬまでは判断できないと思っています。

新人の頃、88才の女性の患者が、寝たきりであり、付き添う家族に気を使い、「早く死にたい」と私に訴える患者がいました。まもなくその患者が死を迎えた時の穏やかな表情が印象的でした。これからは、高齢化社会の中で、たくさんの患者が死を迎えます。

大切な看取りの現場が充実化するよう、努力していきたいと思う。

JCHO仙台病院 庄子 敬子

山室先生のおつ～い思いが詰まった講演でした。

「中治り」現象を数回体験したことはあります。

しかしながら、先生の言われる、薬剤によるせん妄対策により、最近は減って来たと思います。家に近い環境で患者と家族が安心して暮らせる場所を提供したいと考え、努力しているつもりでしたが、最近、いろいろなことがあるたび、自分の思いが揺れています。今日の講演の内容は、「今の私に原点に戻ってよく考えなさい」と言っているようでした。患者・家族に寄り添った「いい日旅立」を支援していける役割があることを実感し、明日頑張っていこうと思いました。本日はありがとうございました。どうぞお身体をご自愛下さいませ。

宮城県立がんセンター 阿部 京子

私自身、普段、ターミナル期の患者を看護することが多く、臨終の場面にも立ち合う経験を何度もさせてもらうことがあり、人の死について考え、悩んでいた時期でもありました。100歳近く、食事がとれなくなり、拒否をするようになった患者さんに、ご家族が食べることを、食べさせることを望むため、点滴をしつつ、少し無理でも食べさせるという行為を「なぜ食べたくないのに食べないといけないのだろう。自然な流れであるのだから、本人の望むままに安らかに過ごしてもらえたらどれだけ良いだろう。」と疑問を持ちながら行っていました。今回の山室先生の講義を受け、人の死と看取り方について深く考えさせられ、今後の私自身の終末期にある患者さんの関わりについて見直していきたいと思いました。貴重なご講義ありがとうございました。

仙台赤十字病院 丹羽 千尋

こる生命体の諸現象～

てのご感想。

終末期における生命体の現象におどろきもあり、人体というもののすごさを知りました。日々、病院勤務で起こることに慣れや鈍感になっていることを本日のお話を聞き、あらためて感じました。

死は怖くない。このお話を皆に伝えていきたいと思います。山室先生のあたたかさにもステキだなと感じました。ありがとうございました。

広南病院 伊藤 真純

何故か先生の講演を聞いている間、涙が止まりませんでした。先月、父を亡くしたから特にそうなのでしょう。家族として、医療者として、死の現場に立ち会う自分を考えました。

今後、患者・家族・医療者のそれぞれを考えながら医療の現場に立ちたいと思います。本当に今日は貴重な講演ありがとうございました。

心が少し、あたたかくなりました。

仙台オープン病院 桜井 浩美

山室先生

ご講演ありがとうございました。

終末期で意識のない患者さんのご家族に、「耳は聴こえていますから話しかけてあげてください」と病棟にいたときに言っていました。今思えば、患者さんが死を迎える際に、看護師として何と声をかければいいのか悩んでいたところに、先輩看護師のことばが、自分の中でしっくりきた感じがあったから言い続けていたのだと思います。要するに看護師として何かできたという自己満足だったのかと本日の講演をきき思いました。しかし、それと同時に、なぜ、その言葉をかけ続けたのかと思ったときに、話しかけてあげて下さいということばで、家族の方が、何か、患者さんに対して、より関心を向ける（モニターばかり見ず）ということができたり、家族の思いを患者さんに伝えるきっかけとなっていたと考えます。そのため、看取りの際の声をかけてあげて下さいというのは家族ケアとしては大切だということの中で意味づけることができました。

現在は、看護教育に関わっていますが、本日の講演を聴き、ますます勉強（臨床経験も含めて）していきたいと思いました。

石巻赤十字病院看護専門学校 大橋 幸恵

総会・研修会のご案内

日本看護連盟総会

平成29年6月15日(木)
東京プリンスホテル
12:30～15:00

16:45
都道府県会長・幹事長・
支部長合同会議

宮城県看護連盟総会

平成29年7月1日(土)
仙台ガーデンパレス
10:00～11:00

交流会 11:30
テーマ 働き方改革推進
「視て・聴いて・語って・行動する」

研修会

平成29年7月29日(土)
仙台ガーデンパレス
10:00～11:30

講演
病院にアートがあるということ！
講師
青木一則(東北福祉大学准教授)

ポリナビワークショップ in 仙台

平成29年10月29日(日)
仙台ガーデンパレス
10:00～11:30

講演 石田昌宏参議院議員
交流会 午後



エーデル
EDEL

東洋羽毛「睡眠セミナー」無料サービスのご案内 *Sleeping seminar*

◆こんなお悩みはありませんか？

- ・夜勤明け、体は疲れているのになかなか寝れない。
- ・寝起きが苦手で起床時間ギリギリまで起きられない。
- ・睡眠時間は長いのに、寝りの質に満足できない。

◆睡眠セミナーを無料で開催しています

東洋羽毛では「睡眠健康指導士」の資格を有した講師による充実したセミナーをご用意しています。研修会や勉強会、学会でのコ－ヒ－サービスも提供しています。

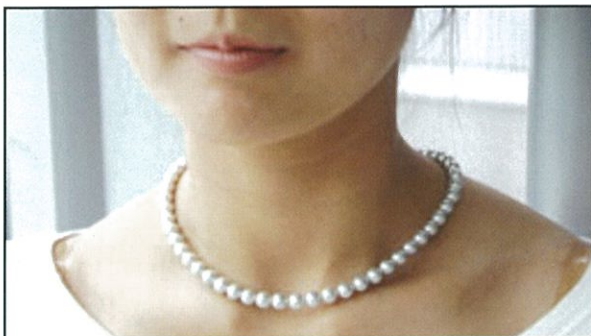
この瞬間、輝くために

EDGE Bedding Products

デオホワイル加工羽毛を採用した
ゴア®羽毛ふとんで、さらに清潔で安心の眠りを。

TUK 東洋羽毛北部販売株式会社 仙台営業所

〒984-0032
仙台市若林区荒井字堀口41番1号2F-67 02501
HPアドレス <http://www.toyouma.co.jp> ☎0120-023-337



最高の
おもてなしには
最高の
装いで



クィーン・パール

Since 1994 20th Anniversary
<http://www.queen-pearl.com>

見える化で、ケアの意思決定を支援する

病棟業務支援プラットフォーム
NICSS-R8

NICSS-R8が実現する情報活用支援

ダブル
Wディスプレイ対応 4コンテンツ表示
知りたい情報が瞬時に把握できます。

業務改善に役立つ
データがあるのね

知りたい
情報がすぐに
把握できるわね

大きな画面で
見やすいわね

【仙台支店】 〒981-0911 仙台市青葉区台原4-11-33 サンハイツ台原 2F
TEL.022-272-8781(代) FAX.022-272-8783

ケアする される心を形に
株式会社ケアコム
<http://www.carecom.jp/>



会員募集！

あなたの力が連盟活動を支えます。
職場の声を国政に反映させましょう！

- 正会員(年会費) 8,000円 (本部会費5,000円 県会費3,000円)
- 特別会員(年会費) 8,000円 (正会員の経験を有し、未就業で現在看護協会員に入会していない方)
- 賛助会員(年会費) 2,000円 (看護連盟の趣旨に賛同していただける方であればどなたでも入会できます。)
- 学生会員(年会費) 無料 (看護学生で看護連盟の主旨に賛同していただける方)

お問い合わせ(事務局)

TEL. 022-293-1720
FAX. 022-293-1727
E-mail: renmei-miyagi@lily.ocn.ne.jp